

2025 年度 日本教育学院 自己点検・評価報告書

2026 年 3 月報告

(期間:2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日)

日本語教育機関の告示基準の第1条第 1 項目第 18 条に従い、当学院に関する自己点検・評価を行い、報告書を作成した。尚、報告書の作成に当たり、点検・評価項目リストは、文化庁国語科実施のアンケートの調査項目に従った。

<p>総括(達成状況、課題など)</p> <p>本学院は生徒の将来の夢の実現のために、教育活動を行っており、教育活動を通して国際交流やコミュニティーに根差した学校運営を図っている。今年度は地域の方々との交流、教員の質の向上を重点的に行った。具体的にはその地域でのボランティア活動や交流を行い、地域の方々には日本語学校に対する理解を得られ、生徒にとっては学習した日本語を実践することができ、日本社会の一員としての意識が高まった。教員の質の向上においては研修や勉強会を実施した。教材の研究や課題、授業での事例等を共有し、指導方法の標準化を図ることができた。次年度の課題は ICT 活用に個人差があることなので、全体での活用方法の共有、個別フォローを行っていききたい。</p>

自己点検・評価リスト(A:達成している B:一部達成している C:改善が必要)

1 教育の理念・目標		評価
1 教育の理念・目標	1-1 教育理念・ミッション	A
	1-2 教育目的・目標	A
	1-3 育成する人物像	A
	1-4 教育内容が地域や社会にニーズに合致していることを確認している	A
	1-5 理念、教育目標及び育成する人材像が教職員及び学生に周知されている	A
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>理念、教育目標に基づき実践的な活動を行い、日本語の学習や習得だけでなく日本社会の一員としての意識を高めた。今後も理念、教育目標に基づき生徒たちがグローバル社会で活躍できるような人材になれるよう教育を通して努めていく。</p>		
2 学校運営		評価
2-1 組織体制(中項目)		評価
2-1(小項目)	2-1-1 事業規模に応じた組織体制になっている	A
	2-1-2 受け入れようとする生徒の言語に対応できる組織となっている	A
	2-1-3 各職務内容及び責任と権限が明確に定められている	A
	2-1-4 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質が明示されている	A
2-2 運営方針や事業計画(中項目)		評価
2-2(小項目)	2-2-1 短期及び中長期の組織の運営方針と経営目標が明確にされ、教職員に周知されている	A
	2-2-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている	A
	2-2-3 意思決定が組織的にシステムとしてなされ、かつ、効率的に機能している	A
	2-2-4 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的かつ組織的に行われている	A

	2-2-5 コンプライアンス体制が整備されている	A
2-3 人事(職員の採用, 育成と待遇)や財務管理に関する規定は適切か(中項目)		評価
2-3(小項目)	2-3-1 教員及び職員の採用方法及び雇用条件が明文化されている	A
	2-3-2 教員及び職員の研修等による教育の質の強化のための取組をしている	A
	2-3-3 財務管理に関する規定が明文化されている	A
	2-3-3 教育機関としての信頼を高めるため, 倫理観, 振舞い, ハラスメント防止等に関する研修を行っている	A
	2-3-4 教員及び職員の評価を適切に行っている	A
2-4 情報の共有化及び発信(中項目)		評価
2-4(小項目)	2-4-1 行政や日本語教育関係機関等の外部からの情報提供が効率的になされ, かつ, 共有化する仕組みがある	A
	2-4-2 教育機関の内部からの情報発信が効率的に行われている	A
	2-4-3 入学希望者・学習者及びその利害関係者(経費支弁者等)の理解できる言語で情報提供を行っている	A
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>日本語教育機関の告示基準に適合する学校運営を行っている。業務改善、効率化を図るため ICT の活用をしている。</p>		
3 教育活動		評価
3-1 教育活動 (中項目)	3-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われている	A
	3-1-2 教育目標達成に向け体系的な教育課程(教育内容, 教育方法及び進度等)が設計されている	A
	3-1-3 レベル設定に当たっては, 国内または国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしている	A
	3-1-4 教育内容及び教育方針について教員間で共通理解が得られる	A
	3-1-5 成績評価や進級, 修了の判定基準は明確にされ, 適切に運用されている	A
	3-1-6 教育目標に合致した教材が選定されている	A
	3-1-7 授業に必要な学習リソース及び情報を教員に提供している	A
	3-1-8 教員の指導力向上のための取組が実施されている	A
	3-1-9 教育課程の改善のための取組が行われている	A
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>定期的に試験や小テストを行いクラス内でレベル差が生じないようにしている。必要な時には補講や課題を出している。今年度は教員の研修や勉強会を多く実施し指導力の向上に繋がった。</p>		
4 学修成果		
4-1 授業評価(中項目)		評価
4-1(小項目)	4-1-1 授業評価を定期的実施しているか	A
	4-1-2 評価体制, 評価方法及び評価基準が適切であるか	A
	4-1-3 生徒による授業評価を定期的実施しているか	A
	4-1-4 評価結果が教育内容や方法の改善, 教員の教育能力の向上等の取組に反映されているか	A

4-2 授業及び教育支援の実施(中項目)		評価
4-2(小項目)	4-2-1 授業開始までに生徒の能力を試験により判定し、適切なクラス編成を行っている	A
	4-2-2 教員に対して、担当するクラスの生徒の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している	A
	4-2-3 開示されたシラバスによって授業が行われている	A
	4-2-4 教育内容に応じて教育用機器を活用している	A
	4-2-5 授業記録及び出席を正確に記録し、かつ教師間で効率的に共有している	A
	4-2-6 理解度・到達度の確認が実施期間中に適切に行われている	A
	4-2-7 生徒の自己評価を把握している	A
	4-2-8 個別学習指導等の生活指導担当者(学習支援担当者)が特定され、適切な指導・支援が行われている	A
	4-2-9 授業が運営に関する生徒からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している	A
	4-2-10 学習内容、時間割と学年暦、成績判定の基準と方法、学習上の留意点、留学生生活上の留意点、入管法上の留意点とこれらについての相談担当者名が記載された文書を、入学時に生徒に配布している	A
4-3 成績・成果の判定(中項目)		評価
4-3(小項目)	4-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されている	A
	4-3-2 成績判定結果を的確に生徒に伝えている	A
	4-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している	A
	4-3-4 進級及び卒業判定が定期的に行われている	A
	4-3-5 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している	A
4-4 進路に関する支援(中項目)		評価
4-4(小項目)	4-4-1 生活指導担当者(進路指導担当者)が特定されている	A
	4-4-2 生徒の希望する進路を把握している	A
	4-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、生徒が閲覧できる状態にある	A
4-5 卒業生の状況の把握(中項目)		評価
4-5(小項目)	4-5-1 卒業生の状況を把握するための取組を行っている	B
	4-5-2 卒業後の進路を把握している	A
	4-5-3 進学先、就職先等での状況や卒業生の社会的評価を把握している	B
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>卒業後の進路先において進路については把握しているものの、その後の状況や評価については情報が限定的であるため進路先との緊密な連携をとることが課題である。</p>		
5 生徒支援		
5-1 支援体制(中項目)		評価

5-1(小項目)	5-1-1 生徒支援計画を策定し、相談等の支援体制が整備されている	A
	5-1-2 休日及び長期休暇中、災害など緊急時の生徒対応ができています	A
	5-1-3 日本社会を理解し、適応するための支援ができています	A
	5-1-4 生活に関するオリエンテーションを実施している	A
	5-1-5 地域交流や地域活動を実施している	A
5-2 安全管理(中項目)		評価
5-2(小項目)	5-2-1 健康・衛生面について指導する体制を整えている	A
	5-2-2 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応を定めている	A
	5-2-3 感染症発生時の措置を定めている	A
5-3 危機管理(中項目)		評価
5-3(小項目)	5-3-1 火事、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定めている	A
	5-3-2 災害等に対する避難訓練を定期的に行っている	B
	5-3-3 防災用品が備蓄されている	A
5-4 生活面における支援(中項目)		評価
5-4(小項目)	5-4-1 住居支援を行っている	A
	5-4-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っている	A
	5-4-3 交通事故等の相談体制が整備されている	A
	5-4-4 定期的に健康診断を実施している	A
	5-4-5 生徒全体の生活状況について定期的に調査している	A
	5-4-6 生徒が意思疎通できる言語で常に相談対応ができる体制を整えている	A
5-5 納付金(中項目)		評価
5-5(小項目)	5-5-1 入学検定料、入学金、授業料及びその他の納付金の金額及び納付時期が明示されている	A
	5-5-2 学費以外に入学後必要になる費用が明示されている	A
	5-5-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている	A
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>入国前と入学時の日本での生活についてのオリエンテーションを行っている。長期休み前にも定期的に指導している。また市が発行している生活に関する情報誌(母語)等も活用している。アルバイトに関しては法律違反をしないように指導を行い、定期的にアルバイト先の情報収集を行っている。年に1回全学生へ結核検診を含む健康診断を実施している。災害発生時の避難方法等の指導も行っている。</p>		
6 教育環境		
6-1 教育機関として適切な環境にあるか(中項目)		評価
6-1(小項目)	6-1-1 校地・校舎面積は、「日本語教育機関の告示基準」に適合している	A
	6-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地及び校舎が整備されている	A
6-2 教室、その他の施設は「日本語教育機関の告示基準」に適合しているか(中項目)		評価
6-2(小項目)	6-2-1 教室内は十分な照度があり、換気がなされている	A
	6-2-2 全ての教室は、語学教育を行うのに必要な遮音性が確保されている	A

	6-2-3 授業時間外に自習できる部屋が確保されている	A
	6-2-4 教育内容及び生徒数に応じた図書やメディアが整理され、常時利用可能である	A
	6-2-5 視聴覚教材など、ITを利用した授業が可能な設備や教育用機器が整備されている	A
	6-2-6 教員及び教員の執務に必要なスペースが確保されている	A
	6-2-7 同時に授業を受ける生徒数に応じたトイレが設置されている	A
	6-2-8 法令上必要な設備などが備えられている	A
	6-2-9 廊下、階段等は、緊急時に危険のない状態である	A
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>全教室に電子黒板を設置しておりデジタル教材を活用できる体制を整えている。そのため教育環境は良好で生徒たちの理解度も向上した。</p>		
7 入学者の募集		
7-1 募集方針(中項目)		評価
7-1(小項目)	7-1-1 理念・教育目標に沿った生徒の受入方針を定め、年間募集計画を策定している	A
	7-1-2 募集定員を定めている	A
	7-1-3 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている	A
7-2 募集活動(中項目)		評価
7-2(小項目)	7-2-1 授業料、教育内容、教育成果を含む最新かつ正確な学校情報が、入学希望者の理解する言語によりインターネット上で開示している	A
	7-2-2 求める生徒像を明示している	A
	7-2-3 応募資格及び条件を入学希望者の理解できる言語で明示している	A
	7-2-4 募集活動を行う国・地域の法令を遵守した募集活動を行っている	A
	7-2-5 海外の募集代理人(エージェント等)に最新かつ正確な情報提供を行っている	A
7-3 入学選考(中項目)		評価
7-3(小項目)	7-3-1 入学選考基準及び方法が明確化されている	A
	7-3-2 生徒情報を正確に把握し、提出資料により確認を行っている	A
	7-3-3 入学選考を行う体制が整備されている	A
	7-3-4 受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している	A
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>入学予定者に入学までの事前オリエンテーションをオンラインで実施し、日本での生活に不安がないようにしている。授業料については他校との差異はない。入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力の確認は面接以外に、日本語のWEBテストにて確認している。</p>		
8 財務		評価
8-1 財務状況	8-1-1 財務状況は、中長期的に安定している	A

(中項目)	8-1-2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている	A
	8-1-3 適正な会計監査が実施されている	A
	8-1-4 予算編成が適切になされ、かつ効率的に機能している	A
	8-1-5 財務情報の公開の体制はできている	A
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>アフターコロナからひと段落し、コロナ禍前の水準に落ち着きつつある。中長期的な見通しについては、計画に基づき安定した収支計画を構築している。適切な人員配置と業務の効率化等による経費の適性配分については、社労士や税理士にも相談の上、取り組んでいく体制を確保している。</p>		
9 法令遵守		
9-1 法令遵守等についての指導を適切に行っているか(中項目)		評価
9-1(小項目)	9-1-1 法令遵守に関する担当者を特定している	B
	9-1-2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組を行っている	B
	9-1-3 個人情報保護のための対策がとられている	A
	9-1-4 出入国在留管理庁ほか関係官庁等への提出、報告を遅延なく行っている	A
	9-1-5 自己点検・評価の実施と改善及び公開を適切に行っている	A
9-2 入国・在留関係に関する指導及び支援(中項目)		評価
9-2(小項目)	9-2-1 担当者は、研修受講等により適切な情報取得を継続的に行っている	A
	9-2-2 入管法上の留意点について生徒への伝達、指導等を定期的に行っている	A
	9-2-3 在留に関する生徒の最新情報を正確に把握している	A
	9-2-4 在留上、問題のある生徒への個別指導を行っている	A
	9-2-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組を継続的に行っている	A
	9-2-6 過去 3 年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない	A
	9-2-7 在留期間更新手続きの指導や一時帰国などに関する指導や支援を行っている	A
<p><現状・具体的な取り組み、課題></p> <p>日本語教育機関の告示基準および出入国管理法を遵守し、在籍管理を徹底している。各関係省庁への報告も遅滞なく行っている。自己点検の結果、法令遵守体制は概ね良好である。今後は、法改正や制度変更に対し、より迅速に教職員への周知を図る仕組みを強化する。</p>		
10 地域貢献・社会貢献		評価
10-1 地域貢献・社会貢献 (中項目)	10-1-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っている	A
	10-1-2 生徒のボランティア活動を奨励・支援している	A
	10-1-3 地域住民と定期的に交流活動をしている	A
	10-1-4 地域の伝統行事等に積極的に参加している	B
	10-1-5 域内の地方公共団体や国際交流団体、自治会等と連携・協力体制を構築できている	A